



「知りたい」「知らせたい」あなたへ

WACCO No. 3



写真提供/私立狛江みずほ幼稚園

* 狛江^{6.39}の春を楽しむ

二月、三月は光の季節。立春も過ぎると厚いコートを脱ぎ捨てて早春の風が光り増し、春本番の予感を告げる――。

こんな春のきざしの先がけ行事。それが二月三日(月)の節分だ。市内の幼稚園や保育園からは「オニはーそと。フクはーうち」の元気な声があふれる。

最近子どものための歳事になりつつあるが、立春前日のこの日は、冬から春への季節の分かれ目。節分と名のつくゆえんだが、昔の農家にとって、豆まきはオニ(厄)を打ち払い、新しい年の豊作を祈願する大切な儀式でもあったという。

そして今、むいから民家園でも三日午後四時半から豆まきを行う。ただしこちらは「鬼を募集しています」。希望者は四時からメイクをして鬼に変身。子どもたちからの攻撃に、デにやられる人がいそう。だ。●むいから民家園 ☎ 34898981(水木休館)

二月が節分なら、三月はひな祭り。野川地域センターでは二月十八日(火)午後二時から「ひなまつりと和菓子作り」の講習会を開く。大人が対象で先着十五名。二月

四日(火)午前九時から受け付け。材料費は五百円。初心者でも手軽にできるので、三月三日の本番を前に、いいチャンスだ。●野川地域センター ☎ 34802211

三月十八日(火)は彼岸の入り。春分の日(二十一日)をはさんで、この日から週間が春日岸。家族でお墓参りをし、供え物をして先祖供養をする。

狛江には「入りばた餅に明けだんこ、中の中日五目飯」とか「中日ばた餅、明けだんこ」などという言葉が残っている。先祖を敬うために、足繁く墓参りをした当時の人の信心ぶりがうかがえる。

そして狛江の春といえば、多摩川だ。水辺の楽校では三月二十二日(土)午前十時半から親子を対象に「春の七草観察会」が開かれる。昨年は、七草のうち五草が見られた。ツクシやノビルなどの食草もあり、少しなら摘み取りもできるという。●狛江水辺の楽校 ☎ 34301111(環境改善課)



INDEX

特集:狛江の春を楽しむ	P1
KOMAE HOT LINE 活動情報	P2
P-I-C-K-U-P(活動紹介) とんぼの会	P4
Public Information 行政・公共情報	P4
Thank's お便り	P4